

町政



中田 壽國

役場組織の見直し

分庁の権限強化

分庁舎統括

中田 現在の溝口分庁舎を支所に組織し、旧溝口町の住民が本庁舎まで出かけることなく、支所においてある程度各課の相談が出来るようにする。また、旧岸本町の住民が産業振興課、教育委員会等の用件で分庁舎まで来なくても済むように組織変更することについて伺う。

町長 分庁方式については、合併調整において岸本庁舎を本庁舎、溝口庁舎を分庁舎とし、分庁舎には溝口地区の住民の方の利便に配慮し、総合窓口課を設置した。

また、四月からは総合窓口課が分庁統括課と名称変更し課長に一定の権限を与えて、今までより

は、分庁での決裁権を高めるよう考えている。

岸本、溝口両地区の住民の方の利便性を考え課の配置と人的配置を行っており、溝口分庁舎を支所とすることは、考えていない。

中田 出張所を二部、日光の各公民館に設置することについて伺う。

印鑑証明、住民票の発行など、役場に提出する書類等の中継基地にして住民サービスを行うことについて伺う。

町長 二部、日光の各公民館に出張所を併設することは、職員配置の問題も生じてきますので、考えていない。

環境に対する取り組み

中田 第一次総合計画に示されている、「住みよさを感じるまち」の重点施策、快適な住環境づくり、エコトの主要施策に太陽光発電システム設置補助等を行い、環境保全を推進するとなっている。

地球温暖化防止策の取り組みとして、太陽光・太陽熱等の自然エネルギーの活用も必要と思う。また、省エネルギーに向けた住民啓発も進めていきたい。

しかし、十八

年度に予算化がされていないことについて伺う。

町長 太陽光発電システム設置補助制度については十七年度に施行したもので、十八年度はこの制度による設置効果等について検証し、十九年度以降の参考にしたい。



ゴミステーション (坂長)

ゴミのステーション化

中田 「ゴミのステーション化」の補助制度があるにも関わらず、旧溝口町内ではステーション化が進んでいない。行政も積極的に集落に outreach に向けた取り組みをすることについて伺う。

町長 旧岸本町では、ほぼ全集落でステーション化が完了し旧溝口町では設置場所の関係でステーション化がされていない集落がある。行政の押し付けはできないが、機会あるごとに「ごみステーション」の設置についてお願いをしていきたい。